

September 8, 2021

【前日の為替概況】ドル円、続伸 米 10 年債利回りが 1.38%台まで上昇

7日のニューヨーク外国為替市場でドル円は続伸。終値は110.28円と前営業日NY終値(109.86円)と比べて42銭程度のドル高水準だった。米長期金利の指標である米10年債利回りが1.38%台まで上昇したことなどを手掛かりに円売り・ドル買いが先行。一目均衡表雲の上限110.11円を上抜けて、110.32円まで上値を伸ばした。一時は2万9590円まで売り込まれた日経平均先物が持ち直し、再び3万円台に乗せたことも相場を下支えした。

ユーロドルは続落。終値は1.1840ドルと前営業日NY終値(1.1870ドル)と比べて0.0030ドル程度のユーロ安水準だった。欧州時間発表の9月独ZEW景況感指数が予想を下回ったことを受けてユーロ売り・ドル買いが先行。米長期金利の上昇に伴うドル買いも入り、一時1.1838ドルと日通し安値を付けた。市場では「9日の欧州中央銀行(ECB)定例理事会を前に、ポジション調整目的の売りが出た」との声も聞かれた。また、独連邦議会選挙(総選挙)を26日に控えて、メルケル首相のキリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)陣営の支持率が世論調査で統計開始以来初めて20%を割り込んだ。CDU・CSUの支持率が過去最低となったことも意識されたもよう。

ユーロ円は続伸。終値は130.58円と前営業日NY終値(130.39円)と比べて19銭程度のユーロ高水準。しばらくは130円台半ばでもみ合いが続いていたが、ドル円や日経平均先物の上昇につれた円売り・ユーロ買いがじわりと強まると一時130.66円と日通し高値を更新した。

代表的な暗号資産(仮想通貨)であるビットコインは下落した。中米エルサルバドルのブケレ大統領が6日夜(日本時間7日早朝)、法定通貨としての正式採用を7日に控える中、同国が400ビットコインを所有していると明らかにすると、アジア時間には対ドルで一時5万2921ドル台まで上昇し、5月13日以来の高値を付ける場面があった。

ただ、NY市場に入ると利益確定目的の売りなどが膨らみ、一時4万3050ドル台まで急落した。もっとも、ブケレ大統領がツイッターで「150ビットコインを追加購入した」「今後も押し目買いを継続する」と発言すると一転買い戻しが優勢となり、4万7700ドル台まで急速に下げ止まった。

【本日の東京為替見通し】米金利上昇でドル底堅いか、本日から3日間はFRB高官講演が相次ぐ

本日のドル円は米金利が堅調に推移していることで上値トライとなるか。目先の水準として意識されるのは今月1日高値の110.42円となる。しかし、その水準を抜けたとしても8月上旬には幾度となく上値トライに失敗している。上昇トレンドを作るためには、更なる米金利の上昇が必要となるだろう。

米金利に関しては、週末から21-22日の米連邦公開市場委員会(FOMC)に向けてブラックアウト期間に入ることで、本日から金曜日までに予定されている米連邦準備理事会(FRB)高官の発言が注目される。確認されているだけでもウィリアムズ米NY連銀総裁、カプラン米ダラス連銀総裁、デイリー米サンフランシスコ連銀総裁、エバンス米シカゴ連銀総裁、ボウマンFRB理事、メスター米クリーブランド連銀総裁の講演がこの3日間で予定されている。多くの講演が日本時間の夜に予定されていることで、市場のトレンドを作るのは米国時間になりそうだ。

米金利以外では、米国の政治状況が市場に影響を及ぼす可能性もあるので警戒しておきたい。米下院委員会では3.5兆ドルの景気刺激策の審議が開始されるが、上院では与党・民主党のマンチン議員が審議の停止を求めるなど、党内の混乱がどのようなかたちで進むのかが注目されている。また、パウエルFRB議長についてバイデン米大統領が再任を認めるかの判断も近々発表されることにも警戒したい。米紙では、共和党員であるパウエルFRB議長の再任を認めず、民主党員のブレイナードFRB理事を指名することにより、バイデン米大統領が与党内の支持を回復できるのではないかとの論調も出ている。

ドル円以外の通貨では、米金利が大きく動いていることで、東京時間にはリスク許容度に敏感なオセアニア通貨の動きにも注目したい。特に昨日の豪準備銀行(RBA)理事会後に乱高下した豪ドルは、本日も神経質に動きそうだ。また、日本時間の夜になるが、カナダ銀行(BOC、中央銀行)が政策金利を発表すること、英国からはベイリー英中銀(BOE)総裁、ブロードベントBOE副総裁、ラムスデンBOE副総裁、テンレイロ英金融政策委員会(MPC)委員が講演を行うことでカナダドルやポンドの値動きも注目される。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ☆ 4-6 月期実質国内総生産 (GDP) 改定値 (予想: 前期比 0.4%/前期比年率 1.6%)
- 08:50 ◎ 7 月国際収支速報
 - ◇ 経常収支 (予想: 季節調整前 2 兆 3000 億円の黒字/季節調整済 1 兆 8522 億円の黒字)
 - ◎ 貿易収支 (予想: 6345 億円の黒字)
- 14:00 ◇ 8 月景気ウォッチャー調査 (予想: 現状判断指数 45.0/先行き判断指数 46.2)

<海外>

- 15:45 ◇ 7 月仏貿易収支 (予想: 61.47 億ユーロの赤字)
- 15:45 ◇ 7 月仏経常収支
- 19:00 ◇ 7-9 月期南アフリカ経済研究所 (BER) 企業信頼感指数 (予想: 49)
- 20:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数
- 未定 ◎ ポーランド中銀、政策金利発表 (予想: 0.10%で据え置き)
- 23:00 ☆ カナダ銀行 (BOC、中央銀行)、政策金利発表 (予想: 0.25%で据え置き)
- 23:00 ◇ 8 月カナダ Ivey 購買部協会景気指数
- 24:00 ◎ ベイリー英中銀 (BOE) 総裁、ブロードベント BOE 副総裁、ラムステン BOE 副総裁、テンレイロ英金融政策委員会 (MPC) 委員、講演
- 9 日 01:00 ◎ 8 月ロシア CPI (予想: 前月比 0.1%)
- 9 日 02:00 ◎ 米財務省、10 年債入札
- 9 日 02:10 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演
- 9 日 03:00 ◎ 米地区連銀経済報告 (ページブック)
- 9 日 04:00 ◇ 7 月米消費者信用残高 (予想: 250.0 億ドル)

9 日

<国内>

- 08:50 ◇ 8 月マネーストック M2
- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況 (週次・報告機関ベース)

<海外>

- 07:00 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、バーチャル会合に参加
- 07:45 ◇ 4-6 月期ニュージーランド (NZ) 製造業売上高
- 08:01 ◇ 8 月英王立公認不動産鑑定士協会 (RICS) 住宅価格
- 10:30 ◎ 8 月中国 CPI
- 10:30 ◎ 8 月中国生産者物価指数 (PPI)

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

7日 05:18 ブケレ・エルサルバドル大統領
「エルサルバドルは200ビットコインを購入。さらに購入する計画も」

8日 00:25
「エルサルバドルは150ビットコインを追加購入」
「バーゲンは終了したようだ」
「押し目をありがとう」
「エルサルバドルは550ビットコインを保有」

7日 13:32 オーストラリア準備銀行(RBA)声明
「週40億豪ドルの国債買入れを実施し、来年2月まで同水準で継続する」
「完全雇用への復帰と目標と一致するインフレを達成するために、非常に支援的な金融条件を維持」
「RBAはインフレ率が持続的に2-3%の目標範囲内に収まるまで利上げをしない」
「中銀の中心的なシナリオでは、この条件は2024年まで満たされない」

7日 17:38 サンダース英 MPC(金融政策委員会)委員
「これまでのような刺激策は必要ない」
「英中銀、来年利上げが必要になる可能性」

7日 22:22 メルケル独首相
「現時点では供給問題が影を落としているものの、自動車産業を含む独経済の回復を実感」

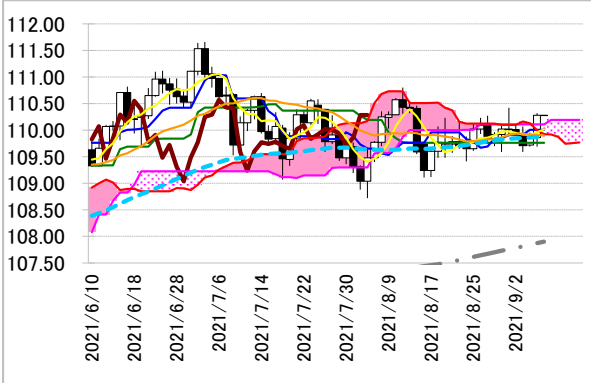
7日 23:36 米ホワイトハウス高官
「バイデン米大統領はデルタ変異株の拡大を阻止するため、6つの戦略を木曜日に発表」

8日 00:42 スナク英財務相
「我々が財政に責任を持つ政党であることを人々が認識してくれることを望む」

8日 00:50 ジョンソン英首相
※さらなる増税を否定するように求められ
「コロナによって状況が大きく変わった」
「今議会でこれ以上の増税は望まない」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

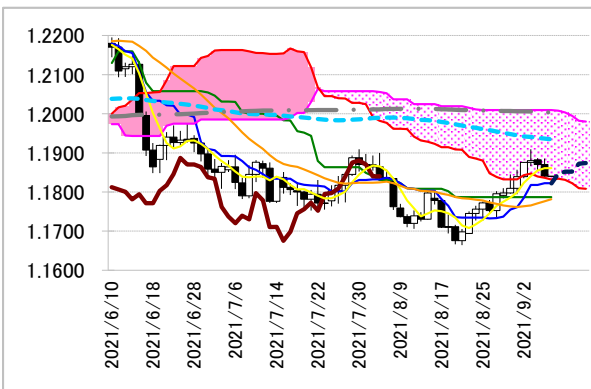


<ドル円=雲のねじれ部分を上抜け>

下影陽線引け。昨日は戻りの鈍さを嫌気した下押しが先行した。しかし、前日6日のレンジ下限109.69円に並んだところで下げ渋った。一目均衡表・雲が厚みを狭め、相場の変わり目にもなりやすい「ねじれ」が生じた部分を上抜けている。

目先のすう勢を示す5日移動平均線も、低下傾向から上昇へ転じた。再び厚みを増し始めた雲が支えとなり、1日に伸び悩んだ際の高値110.42円を上抜けて勢いづけば、レンジ上放れも可能だろう。

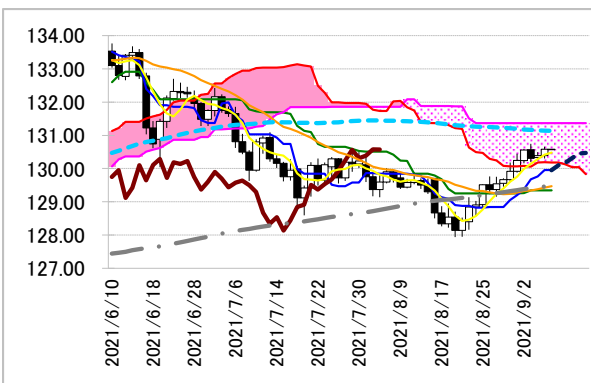
レジスタンス1	110.80(8/11 高値)
前日終値	110.28
サポート1	109.76(日足一目均衡表・基準線)
サポート2	109.11(8/16 安値)



<ユーロドル=転換線前後で下げ渋ることできるか>

上影陰線引け。1.1830ドル台で低下傾向の一目均衡表・雲の下限を迫るように、一時1.1838ドルまで下値を探った。上昇傾向の一目・転換線1.1822ドル前後の攻防となりそう。転換線付近で下げ渋るとみるが、下値を広げる展開となれば、一目・基準線1.1787ドルのサポートを頼ることになる。

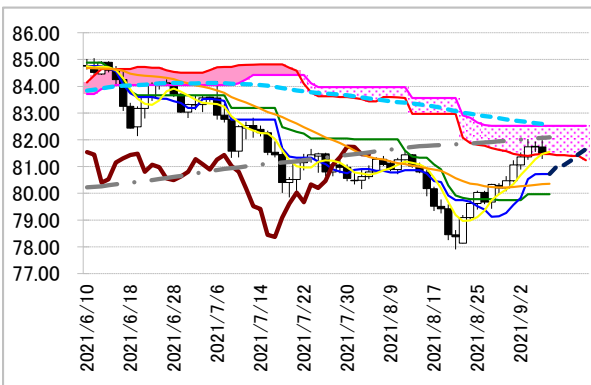
レジスタンス1	1.1901(ピボット・レジスタンス2)
前日終値	1.1840
サポート1	1.1787(日足一目均衡表・基準線)



<ユーロ円=131円台の90日線や雲の上限を狙う展開か>

小陽線引け。130.10円台の一目均衡表・雲の下限を上回る水準での推移が続いている。抵抗でもありサポートともなる雲の中で動意の鈍さも感じられるが陽線を形成。底堅さを示しており、131.14円前後で推移する90日移動平均線や、雲の上限131.37円をうかがう流れとなるか。売られて雲を割り込んでも、明日にも130円台へ上昇する見込みの一目・転換線が支えとなりそうな状態を維持している。

レジスタンス1	131.14(90日移動平均線)
前日終値	130.58
サポート1	129.96(日足一目均衡表・転換線)



<豪ドル円=200日線位置する82円目前でいったん停滞>

小陰線引け。200日移動平均線が位置する82円台回復を目前に、じり高の流れがいったん停滞している。一目均衡表・雲の下限81.46円前後の攻防。低下へ転じる雲の下限は強い支えになっていない。再び上値を試すにしても、切り上がりが見込まれる一目・転換線が支えになる状態となつてからかもしれない。

レジスタンス1	81.88(ピボット・レジスタンス1)
前日終値	81.46
サポート1	80.89(9/2 安値)

